

中央公民館だより

ふるさと自然観察



浅草山麓エコミュージアム

「コロナ禍と公民館」

中央公民館長 森山 正昭

日頃は公民館をご利用いただきありがとうございます。また、中央公民館・各地区公民館・分館の開催する講座等にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

さて、令和2年度は新型コロナウイルスの世界的な流行により波乱の幕開けとなりました。

日本中の皆さんが楽しみにしていた東京オリンピック・パラリンピックも1年延期になってしまいました。また、魚沼市でも成人式、コシヒカリ紅葉マラソン大会など数多くの事業が中止になりました。

そしてこの新型コロナウイルスは、私たちの日常生活を大きく変え、特に公民館の活動はその影響を大きく受けることになりました。貸館事業は4月4日から5月末まで、講座等の開催は6月末まで中止とさせていただきましたし、7月以降の講座等も中止や内容を変更しての開催となっています。

公民館の役割は住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を促し、人づくり・地域づくりに貢献することとされていますが、今回の新型コロナウイルスの感染予防対策により、公民館活動の中で最も重要と言える「つどう」ことが難しい状況となりました。

「つどう」ことを制限された公民館は本来の機能を発揮することが難しい状態となっています。今後はこうした状況下における新たな公民館の在り方を模索していく必要があると考えています。

現在の公民館における感染予防対策としては、マスクの着用・手指の消毒・連絡先名簿の提出・室内の換気・利用者の間隔・利用人数の制限等様々なお願いをしています。公民館利用・講座参加の皆さまには大変なご迷惑・ご不便をおかけしていますが、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

この新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、公民館が多くの笑顔で溢れることを心から願っております。

「コロナに負けるな」

堀之内公民館館長 児玉 節子

4月から堀之内公民館長となりました児玉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より、公民館活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

春先からの新型コロナウイルス感染で、多くの方から参加いただけるように計画しました各種講座、講演会の中止や貸館事業の中止。貸館事業再開後も三密を避けるなどの幾つかの利用条件を付けての貸館事業、各種団体におかれましては活動に多大な支障があったことと思いま

す。 これからも続くと思われる新型コロナウイルスですが、公民館の役割でもある「つどろ」「まなぶ」「むすぶ」という役割と、

利用される方が安全・安心して活動できるように公民館職員一同努めていきたいと思っております。 ※ 写真は、イベント自粛による花の消費の減退、生産者支援や市民の方のストレス解消を目的とした「花いっぱい応援事業」で公民館受付前に市内の花屋から届いたフラワーアレンジメントです。



月2回きれいなお花を、ありがとうございました。

石仏・石碑探訪に必携！

「小出地域歴史散歩」のデータをメールで配信いたします

小出公民館館長 八海 昭夫

コロナ禍の昨今、人が密集しての事業開催が困難な状況です。

そこで小出公民館では、少数での地域学習を支援しようということと、「小出地域歴史散歩」のデータをメールで配信いたしますので、ご利用ください。

「小出地域歴史散歩」は、「小出島」「稲荷町・四日町」「佐梨」「向山・青島」「上原・干溝」「伊米ヶ崎」の6地域に分かれています。大きさは、A4版の中折りタイプで、ガイドブックとしてポケットにも入ります。

本文には、所在地の一覧表とともに、その地域にある石仏や記念碑などの建立年、大きさ、いわれ等がくわしく解説されていますので、地域の信仰と郷土史の一端を学ぶことができます。

ご希望の方は、北部公民館のメールアドレスあてに、入手したい地域名を書いてメール送信してください。折り返し、公民館事務局から歴史散歩のデータ

を添付して返信いたします。

パソコン等がなくメール通信が困難な方は、直接、小出北部公民館の窓口においでください。ご希望の地域の歴史散歩をコピーしてお渡しします。その際には、コピー代金（1枚につき10円。約100円から200円程度）が必要となりますので、ご持参ください。皆様の申し込みをお待ちしています。



「小出地域歴史散歩」の申し込み先
E-mail : koidehokubu-ph@city.uonuma.lg.jp

Withコロナで半年間

伊米ヶ崎公民館館長 鎌田 惣吉郎

この10月末で日本の新型コロナ感染者が10万人を超えたというニュースが流れ、ウイルスによる感染症の勢いは全世界でも止まることがなく、私たちの生活も一変してきています。

4月、5月の緊急事態宣言時は、社会・経済・学校も止めてしまいました。今日では感染の危機を乗り越えるべく活動の見直しが必要で、承知のようにならずに事業など再開してきています。

この様な現状で「コロナと共存」的な言葉を耳にする時があります。これは、コロナ前の社会に戻すことを志向するのではなく、この危機を受け入れながら、しなやかに対応し、変化を受け入れることです。その流れの中で、日常における様々な活動を見直すことが必要となってきました。その一例として、注目される事象に、SNSやICTを活用したオンラインでのテレワーク等、人に会わずに遠隔から情報のやり取りができ、在宅勤務が可能な時代が広がっています。また、進化も続いています。しかしながら、人が人に自分

の考えや思いを伝えるとき、言葉の力は1割、口調が3割、後の6割は表情だといわれています。バーチャルな世界では面識が薄くなるため、人と人との関わりや繋がりを再度考え直していく必要があるのではないのでしょうか。

公民館活動は、多様な活動を通じて人と人との希薄な関係を、リアルなコミュニケーションや触れ合いの中から、大切さを再認識していただく場として提供することが一番の目的と考えています。

当館においても、コロナ禍の影響で運動会、ソフトバレーボール大会、芸能祭などの行事を中止せざるを得ませんでした。感染防止講習会、絵画展、書き付け教室などできる事から始め、今後も地域の皆様が学び、楽しめるような場を提供していきたいと思えます。

最後に、これまで培ってきたものの大切さを再認識して、地域の皆様のご協力を得ながら、しなやかに、変化を恐れず、ひとつひとつ積み上げていきます。

新しい湯之谷公民館に

お立ち寄りください

湯之谷公民館館長 山田 順子

今年度4月から、公民館長を拝命いたしました。よろしくお願ひいたします。

地域世代間交流施設にありました湯之谷公民館事務局は、市の機構改編及び本庁舎の建設と開庁に伴い、旧湯之谷庁舎に引っ越しました。

春からは、1階の一部と2、3階をお貸ししている一般企業様と時期を合わせ、改修工事を実施。完了後は1階のフロアに休憩スペースと会合等に使用していただける貸館予定の会議室、主に湯之谷地域を紹介する図書コーナー、併せて公民館事務局と住民票等を交付する市民サービスコーナーを併設する予定です。工事期間、皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、より身近に便利に使っていただける施設になると思えます。機会がありましたら、ぜひ、お立ち寄りください。



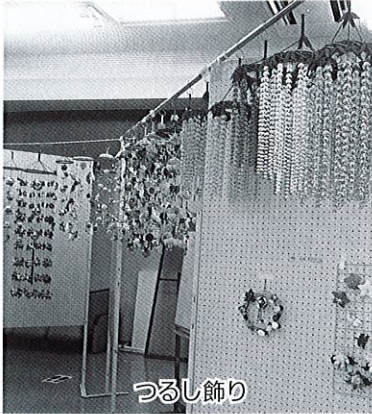
写真は、11月1日、コロナ対策を万全に考慮した中で実施した、ふるさと歴史講座「銀の道」トレッキングの様子です。

新しい考え方で 地域传统文化の継承と継続を

広神公民館館長 山内 壮



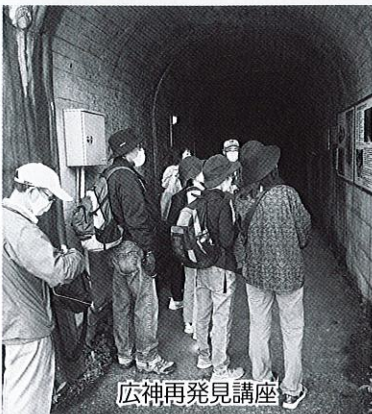
令和2年4月から広神公民館長に任命されました山内壮（つよし）と申します。公民館長職は、初めてのことで不安を抱えています。平成16年11月の6か町村合併時の最初の配属先が広神庁舎の農林課でした。当時も中越大震災後の大混乱の中で船出であり、今回も新型コロナウイルス感染拡大防止対策という市民の皆様も初めての体験の中で対応に戸惑いを覚えたのではないのでしょうか。公民館活動を実施するうえで、皆様には大変ご迷惑、ご不便をおかけしていますがご理解をお願いします。



つるし飾り

今年度は、5月に市役所新庁舎が開設したことに伴い、広神公民館の職員管理体制に若干の変更がありました。平日昼間の事務室が玄関突き当りの会議室に移動しました。ここでは、公民館管理事務及び市民サービスコーナー事務を行っています。簡単な証明書の発行などを行っていますのでご利用ください。日中の職員数は、私を含めて3人となりました。

今年度の公民館活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を踏まえたうえでの実施となりました。今後の公民館事業は、新しい考え方、斬新な方法を皆さんと共に意見を出し合いながら創っていきたいと思います。地域の伝統行事、文化活動の継承と継続にご協力ください。



広神再発見講座

新 守門公民館長です

守門公民館館長 山本 一吉

コロナ禍の中であり、いくつかの講座が中止になりましたが、8月には、第70回守門岳山開き記念写真展、9月にはウッドバーニング展を開催しました。

10月に権現堂山の須川ルートからの登山を計画しましたが、雨のため中止になり残念でした。須川生産森林組合の方々が新たに整備した登山道であり、やや急な斜面があるものの危険箇所はなく登山口から頂上まで1時間とあって、今後登山者の増加が見込めます。

他の事業としては次の事を実施しました。

- ・切り絵教室 4回
- ・ウッドバーニング教室 6回
- ・守門高齢者教室 1回



第70回 守門岳山開き記念写真展



ウッドバーニング展



ウッドバーニング教室



高齢者教室

切り絵、ウッドバーニング、どちらも細かい作業ですが先生の指導の下、集中して取り組み、納得のいく作品を仕上げました。高齢者教室は小出病院の先生方からスライド、実演を踏まえながら講演していただき、質疑応答ではたくさん質問に丁寧に答えていただきました。



切り絵教室

私は今年度、守門公民館長になりました。山登りが好きでよく出かけています。今年は県外に行けなかったのが、権現堂山を中心守門岳や唐松山に登りました。公民館に必要なものは「つどう、まなぶ、むすぶ」だといえます。コロナ禍の中でどのように具体化していくか日々考えて過ごしています。どうぞよろしくお願致します。

入広瀬公民館の紹介

入広瀬公民館 館長 穴沢 良一

「会津街道をたどる」「五輪峠・横根」ではかつての道を通りして、いた頃に思いを寄せ、六十里越や隣村への道・遺跡などを学びました。「大雪になるだろうか」は新潟地方気象台の講座です。温暖化と言われますがやはり雪は気になります。高齢者講座ではコロナウ

イルスなどの「感染症対策」を、子供向け講座では「生け花」を実施しました。今後、県立歴史博物館による年中行事や石仏についての講座があります。今の生活を大事にしながらも地域の歴史やならわしを学び、故郷のあり様を見つめ直したいと思います。



地域探訪講座



子ども生け花教室



高齢者講座



ふるさと自然観察



新職員紹介

その1

よろしく願います

視聴覚センター 目黒智恵子

5月より堀之内公民館の1階にある「魚沼市視聴覚センター」で仕事をさせていただいております。目黒智恵子と申します。魚沼市で生活をさせていただくようになり約8年になりました。旅行が好きで旅先では地元のスーパーマーケットに行く事が楽しみです。最近は何日帰り旅行を楽しんでいます。最近は何日かクルーズ船に乗って海外旅行を楽しみたいと思っています。

次に視聴覚センターの紹介をさせていただきます。視聴覚セン

ターでは学校、保育園、社会教育団体等を対象にプロジェクターやスクリーン、DVDなどの機器、教材の貸出をおこなっております。プロジェクターとパソコンを使用し勉強会が行われたり、DVDプロジェクターとスクリーンを使用し鑑賞会が行われたりと様々な用途でご利用いただいております。ご利用の際はどうぞお気軽にお問い合わせてください。

まだまだ勉強中の私ですが今後共よろしく願います。

新しい湯之谷公民館

5月から湯之谷公民館は、旧湯之谷庁舎に移動し、サービスコーナーと公民館が一緒になり、それからお世話になっていきます。

当初はコロナ禍の中、貸館も講座も行えない状況で、公民館を訪れる方も少数でした。しかし、少しずつ制限が緩和され、貸館や講座も再開されますと、皆さん一緒に、待ち望んでいたご様子でした。その姿を見て、これが公民館

湯之谷公民館 主事 金井 加織

の役割、人々の集う場所の必要性なんだと感じました。

湯之谷公民館は工事を経て、リニューアルオープンします。新しい公民館で、新しい出会いが待っています。私もそのお手伝いをさせていただきます。皆さんにお会いするのを楽しみにしていますので、ぜひ、お立ち寄りください。

新職員紹介

その2

ご挨拶

広神公民館 主事 窪田 雅亮



母の地元、広神地区。幼少時から遊びに来る度に、いつかこの場所に住むかもしれないと思っていました。そう思いながら新潟市で生まれ育ち、高校卒業後は山梨県へ。その後また新潟市で就職し、他の土地に住むことはもうないと思っていました。

ところが状況が急変し、縁あって昨冬に広神へ移住してきました。今年の4月からはこれまた縁あって、広神公民館の主事を務めさせていただいています。

コロナ禍で家族や友人と会えない中で、縁や絆の大切さを改めて認識された方も多いかと思います。私もその一人です。恩返しならぬ縁返しとして、人と学びの縁、人と人の縁を繋ぐ仕事ができるように精一杯頑張ります。宜しくお願ひします。

はじめまして

広神公民館 主事 荒井 愛



今年の5月から広神公民館でお世話になっております。生まれも育ちも今現在も魚沼人です。4月まで広神庁舎に勤務しておりました。隣からこちらへ移ったのですが、今まで公民館へはあまり足を運ぶ機会もなく、実際どんな事をしてい

るのか良くわかりませんでした。今年が残念なことに新型コロナウイルス感染症の影響で様々な講座や活動が自粛や中止になり皆様には大変ご不便をおかけしています。本来ならば、たくさんの方の地域の方に来館していただいていると聞いております。

そんな中でも少しずつではありますが、利用制限の緩和もされてきました。市報や市HPなどご覧頂き、少しでも興味のある講座がございましたら是非ご参加お待ちしております。

公民館が一人でも多くの皆様に気軽に利用していただける憩いの場となるよう努力し、笑顔で勤めてまいりたいと思っております。どうぞ気軽にお声かけよろしくお願ひいたします。

参加者の声

初心者書き付け教室に
参加して

伊米ヶ崎公民館講座参加者 Hさん

市報に「初心者書き付け教室」(伊米ヶ崎公民館5回シリーズ)が載っていました。それを見て冠婚葬祭以外、普段ほとんど筆ペンは使用しないのですが、習うことで字が少しでもきれいに書けるようになれば良いと思います。参加してみました。

書き方には、楷書体、行書体、と本で書いてありますが、講師の五十嵐弘子先生(守門在住)は、お手本に楷書体、行書体の字体の用紙を示し、穂先で線の書き方、ひらがなの力入れかた等、毎回、先生のお手本を見ながら、12名が個々に練習しています。

筆ペンで気をつけていることは、

○筆ペンは寝かせないようなるべく立てるように持つ。

○持ち手は軽く上げ気味にして、筆が自由に動けるようにする。

○姿勢は、背筋を伸ばし、肩や腕に力が入らないように自然な姿勢で行う。

3回終了し、のし袋に書く字(御祝、御見舞、寸志、粗品、御佛前、御布施)を習いましたが、穂先の力の減や字体のバランス等が思うようにできず、毎回練習が必要だと感じていました。

あと2回筆ペン講習があり、筆ペンに慣れ、のし袋に美しい字を書きたいと思っています。



だんだんど〜も

伊米ヶ崎地区では、小学生・デイサービスのお年寄りと共にさつま芋作りを行い、焼き芋にして食べる事を恒例の事業としてきた。

今年はコロナ禍による感染対策上から芋植も交流会も中止となり、当館独自で苗を植え、10月末には収穫の運びとなった。

どの様な芋に育ったのかさやかな期待を込めて掘ってみると、つるの先には芋が無く、在るのは縦横無尽に走るトンネルのみ。更に掘り進むと大きな芋も無残にも半分くらいねずみにかじられていた。たまには無傷の大きく太った芋もあり思わず安堵した。

いくら今年の干支が「ねずみ」といえ、ほとんどの芋にかじった跡を残すとは・・・。

通りがかかった近くの古老の「ねずみの嫌いな彼岸花を植えるといいかも、球根をあげるから植えてみなよ」の一言に、新たな意欲が湧いてきた。

伊米ヶ崎公民館長 鎌田 惣吉郎

表紙の目

木道を歩くと紅葉の始まった木々が迎えてくれた。イワナも足早に上流を駆け上がる。あと一週間後には紅葉は盛り、と所員は言う。そうしたらもう一度、浅草の工コ・ミュージアムに行ってみよう。そして四季を織りなす自然を満喫しよう。

入広瀬公民館長 穴沢 良一

編集兼発行人

魚沼市中央公民館長 森山 正昭